

令和 7 年度 教育課程編成委員会 議事録（1 回目）

実施日：令和 7 年 6 月 24 日（火）13：30～16：30

（理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分）

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティー専門学校 校長）
稲生直子（学校法人 菊武学園 菊華高等学校 主幹教諭）
富田 守（㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー）
香村恭子（セントラルジャパン日本語学校 校長）
山口 孝（アリアーレビューティー専門学校 広報主任）
森山郁子（アリアーレビューティー専門学校 教務主任）
高橋秀典（アリアーレビューティー専門学校 美容科チーフ）

欠席者：委員 高木義仁（愛知県美容業生活衛生同業組合 理事）

順不同

委員会次第（概要）

- （1） 開会
- （2） 学校長挨拶
- （3） 理容・美容業界に関するデータ紹介
- （4） 令和 6 年度自己評価の報告
- （5） その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

- （6） 閉会

終わりに、校長から令和 7 年度は第 2 回目を令和 7 年 11 月～12 月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○稲生直子 委員

訪問理容・美容のお話がありましたが、弊校の福祉科も現在 1 学年 50 名前後の生徒がおり、全国の高校からも視察にお越しいただいています。人材確保に関しては、今教員のハードワークも課題になっており教員になりたくない層が増えているのも実感しています。知り合いに紹介してもらったりもしています。教育の質の向上に関して特段総括のようなものはしてはいないのですが、多様な生徒が多くなってきていますので勉強会は常に行っています。

(学校側)：訪問福祉に関しましては、昼間生は全員福祉施設におじゃまし、接点を持つようにしているのですが、もっと技術指導的なものをカリキュラムの中で取り入れ、最も魅力的なことの 1 つとして入学希望者に訴えかける必要があると思っています。最近、通信高校からの入学が多く、社会的・経済的な面からもより工夫した生徒指導の必要性を感じています。少人数制のアリアーレ、面倒見のよいアリアーレの評価の声をよくいただいているのですが、「だから」・・・国家試験の合格率がよい、退学率が低い、技術大会に入賞する等につながっていきたいと思っています。言葉でいうほど簡単ではありませんが、常に工夫してまいります。

○富田 守 委員

保護者アンケートの話なのですが、「分からない」という選択が多かったとの報告がありました。それはどういう意味なのでしょう。ダブルライセンスを目指す方が退学されたとの事。どのような経緯だったのでしょうか。専門学校希望者の動きが速いのはご承知の通りですが、留学生も東京や大阪では早く、すでに定員を締め切っているところも発生。未決定者が名古屋に流れてくるかどうかうわさされています。人材確保に関しては弊社でも大きな課題で、リクナビやマイナビ、大学内説明会に参加したりしています。中途採用が多いですね。新卒は 4～5 名ぐらいです。

(学校側)：保護者アンケートの件ですが、SNS や学園新聞、保護者 Line 等で日々の学校生活を発信しているのですが、まだまだ認知度が低いという結果だと思っています。ダブルライセンスを目指す生徒は、より意識の高い生徒という認識だったの

ですが、今回理容・美容両方とも進路変更で退学されました。特段強引な勧誘募集をしている訳ではありませんが、実家がサロン外の生徒に関しては、一層のフォロー体制が必要かと思っています。留学生募集については実際の授業見学をしてほしく、毎週水曜日の午前に行っていましたが、日本語学校での授業もあり、公休扱いする学校もさまざまだったので、日本人向けと同じ日にちでも対応していけるよう今月から改善しました。

○香村恭子 委員

留学生の進学・就職の報告がありましたが、留学生に日本で就職するイメージがない、就職活動のイメージがないのではないのでしょうか。自分で動くというより、だれかが決めてくれるという受け身の感覚ではないのでしょうか。弊社では出席率 90～100% を目指しており 80%未満では卒業証書は発行しません。遅刻は授業開始後 20 分までは認めますが、20 分を超えたら欠席扱いです。認定日本語学校になるためのハードルは結構高く、そのための教育の質の改善・努力に向けた総括を立証資料に基づきながらしっかりとやっています。ただ日本語能力試験に向けたカリキュラムを添付するだけでは認定日本語学校にはなれません。人材確保も大切で、日本語教師サイトを利用したり、学生サポート・入管関係についてはハローワークを使っています。外国人が応募してくることもあります。

(学校側) : 4 月入学生を受け入れる (留学生) 際、日本語学校側から出席率が 84% しかないで履修証明書は出すが卒業証明書は出さない、授業料が完納していないから卒業証明書を出せない等の電話を受けました。留学生に高い出席率を求めていることがよくわかりました。(アリアーレは 80%未満で退学になります。) またアリアーレでは教育の質を担保するため、文科省認定 職業実践専門課程の認定を受け、この会議を催しています。専門学校も日本語学校も今後自己点検や評価制度の充実が求められる時代になっていくのでしょうか。

以上
記録 : 山口

